

編集方針

伊藤忠商事のCSRの考え方

伊藤忠商事では、CSR (Corporate Social Responsibility) とは持続可能な社会へ向けて、企業が事業活動を通じてどのような役割を果たしていくのかを考え行動していくことであると考えています。本レポートでは、その果たすべき役割と取組について報告しています。

Highlight

本レポートでは伊藤忠商事の持続可能な事業活動における4つのCSR上の重要課題のうち、以下の2つの取組について、Highlightとして報告しています。

① 水・環境に関する公共インフラ事業

持続可能な資源利用を商機と捉えた水・環境に関する公共インフラ事業を紹介します。

② サプライチェーン・ハイライト

第7回目は当社の事業会社であるDoleの主力商品である「バナナ」の生産現場から店頭までのサプライチェーンの現場を取り上げています。第7回「バナナが食卓に届くまで」

表紙について

伊藤忠商事は、2014年6月、『ひとりの商人、無数の使命』をコーポレートメッセージとして発表しました。企業理念である「豊かさを担う責任」に込めた意図をわかりやすく示し、企業から社会への「約束の言葉」として、その価値を社内外で共有することを目的としています。



ステートメント

ひとりの商人がいる。そしてそこには、数限りない使命がある。伊藤忠商事の仕事場は、この地球の上すべてです。国を超えて暮らしと関わり、新たな生活文化を創り、ありとあらゆるものを力強く商っています。そのとき忘れてはならないことは「その商いは、未来を祝福しているのか?」ということです。私たちは、この世界に生きるすべての人の明日に貢献する企業として「豊かさを担う責任」を果たしていきたい。商うことの先に広がる、生きることの豊かさこそが、本当の利益だと信じているからです。これは、そういう、ひとりひとりの商人の使命と決意を表す言葉です。

デザインについて

女流書家 金澤翔子氏にコーポレートメッセージに込めた想いを書き表現していただきました。金澤氏はダウン症という障害を抱えながらも、その力強い作品は観る者を魅了し続けており、2015年3月20日の世界ダウン症の日には、国連本部にて日本代表でスピーチを行うなど国や地域を超えて活躍の場を広げています。

CSRに関する情報開示について

幅広く当社のCSRの取組に関する情報にアクセスいただける様、以下の媒体を通じて情報開示を行っています。

ウェブサイトCSRページ

伊藤忠商事のCSR活動について、幅広いテーマを網羅する形で情報開示を行っています。また、期中に行った活動について速報性をもって情報を発信しています。

www.itochu.co.jp/ja/csr/



CSRレポート

ウェブサイトCSRページで幅広く網羅されている情報を、年次の報告書としてPDF版で発行しています。当社のCSR活動を継続的な観点でご覧いただくことができます。(PDF)

www.itochu.co.jp/ja/csr/report/



アニュアルレポート

投資家をはじめとするステークホルダーに向けて、経営実績、今後の成長戦略等とともにCSR活動に関する特に重要な情報を総合商社の事業活動の特性を踏まえた切り口で一体的に報告しています。

www.itochu.co.jp/ja/ir/



参考にしたガイドライン

GRI (Global Reporting Initiative)
「サステナビリティ・レポート・ガイドライン (G4)」
環境省「環境報告ガイドライン (2012年版)」
ISO26000 (社会的責任に関する手引)

 GRIガイドラインと国連グローバル・コンパクトの対照表
<http://www.itochu.co.jp/ja/csr/report/gri/>

※本報告書にはGRIサステナビリティ・レポート・ガイドラインによる標準開示項目の情報が記載されています。

対象期間

2014年度 (2014年4月1日~2015年3月31日) の実績ですが、活動や取組内容は一部直近のものも含まれます。

発行情報

発行日 : 2015年8月
次 回 : 2016年8月予定 (前回: 2014年8月)

対象範囲

伊藤忠商事株式会社 (国内9店、海外112店) 及び主要グループ会社を含みます。

問い合わせ先

伊藤忠商事株式会社
広報部 CSR・地球環境室
TEL: 03-3497-4069
FAX: 03-5474-7296
E-mail: csr@itochu.co.jp

目次

1 編集方針/目次

3 トップコミットメント

伊藤忠商事のCSR

5 伊藤忠グループの企業理念とコーポレートメッセージ

6 「三方よし」と伊藤忠商事のCSR

7 CSRに関する基本方針と推進体制

11 ステークホルダーとの関わり

12 CSRアドバイザリーボード

13 人権の尊重

16 国連グローバル・コンパクト

17 CSRの社内浸透

19 対談-総合商社に求められるCSRの取組

Highlight

22



水・環境に関する
公共インフラ事業

26



バナナが食卓に届くまで
サプライチェーン・ハイライト

事業活動とCSR

30 繊維カンパニーのCSR

34 機械カンパニーのCSR

37 金属カンパニーのCSR

40 エネルギー・化学品カンパニーのCSR

43 食料カンパニーのCSR

46 住生活・情報カンパニーのCSR

サプライチェーン・ 事業投資におけるCSRマネジメント

50 サプライチェーン・マネジメント

53 事業投資マネジメント

54 商品別のCSR調達への取組

環境への取組

56 環境方針

58 環境マネジメント

61 環境リスクの未然防止

62 環境保全型ビジネスの推進

64 生物多様性保全への取組

66 環境教育・啓発活動

67 環境パフォーマンスデータ

72 環境会計

73 環境物流の取組

社会貢献活動

74 社会貢献活動基本方針

75 社会貢献活動アクションプラン

76 社会貢献の主な活動

社員との関わり

92 「攻め」を支える人材戦略

95 社員が活躍できる環境づくり

100 社員の活躍を支える労働安全衛生の取組

102 「朝型勤務」制度の導入

103 社員とのコミュニケーション

105 基礎データ

コーポレート・ガバナンスと 内部統制、コンプライアンス

107 コーポレート・ガバナンスと内部統制

113 コンプライアンス

116 社会からの評価

117 GRIガイドラインと 国連グローバル・コンパクトの対照表

125 独立した第三者保証報告書

126 会社概要/財務情報